

長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校だより（4月号）

# 青空いっぱい



発行責任者：校長 田中 昭二

## 御入学をお祝いして 「長大とくし」へようこそ

附属特別支援学校に入学した新入生の皆さん。御入学おめでとうございます。

学校生活を通して、皆さん一人一人の「**長**所（良いところ・得意なところ）」を見つけ、そして伸ばしていきましょう。

小学部に入学した皆さん。皆さんにとっては、初めての学校です。

たくさん遊んで、楽しく勉強をして「**大**好きなこと」を見つけてください。

中学部に入学した皆さん。中学部では、いろいろな活動に「**と**もだちとチャレンジ」します。友達と力を合わせ、友達の頑張りを励みにしながら自分を信じて、あきらめないでチャレンジしてください。

高等部に入学した皆さん。高校生としての自覚をもち、何事にも本気で、全力で取り組み、心と体を鍛えましょう。そして、将来への夢を描き、進路実現に向けて「**く**らす力」や「**し**ごとをする力」を磨き、高めてください。

※本校を略して「長大とくし（長崎大学特支）」。「私たちの学校」として覚えてほしい、そして言葉遊びになるかもしれませんが、一文字ずつに思いを込めました。校長室前に掲示しています。ご覧ください。

新入生の保護者の皆様、改めまして、お子様の御入学おめでとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、本校も3月2日から臨時休業としました。そして、ようやく4月7日から学校教育活動を再開することができました。3月の学校だよりでは、臨時休業になった学校を「動力を失い波間を漂う船」と表現しましたが、今は動力を得て、少しずつ前進を始めました。

しかし、目には見えない脅威が世界中に、そして日本国内でも感染が拡大し、先が見えない状況はまだまだ続いています。「これまでどおり」という考えでは通用しない現実の中、発想の切り替えや考えの再構築が私たち教職員には求められていることを日々実感しているところです。

お子様の安全や健康の維持、様々な教育活動の実施等、保護者の皆様におかれましては、様々なことでご心配のことと拝察いたしますが、本校教育活動への御理解と御協力いただき、本校教育活動の推進にお力添えをお願いいたします。

最後になりますが、新入生の皆さん。

学校には「校訓」という学校の目標があります。附属特別支援学校の校訓は「生きる力」「生きる喜び」です。「生きる喜び」が歌詞になっている歌を知っていますか。答えは「アンパンマンマーチ」です。

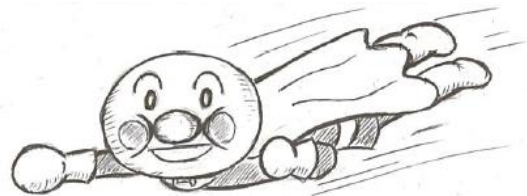
♪そうだ うれしいんだ 生きるよろこび

たとえ おねのきずが いたんでも

♪そうだ うれしいんだ 生きるよろこび

たとえ どんなてきが あいてでも

（作詞 やなせたかし氏）



校訓の「生きる喜び」が含まれた歌をロズさむと、元気が出てきます。「愛」と「勇気」が友達のアンパンマン。アンパンマンは言っています。

「何のために生まれて、何をして生きるのか。答えられないなんて、そんなのはいやだ」

「何がきみの幸せ。何をして喜ぶ。分からないまま終わる。そんなのはいやだ」

これからの生活で好きなこと、やりたいことを見つけ、たくさんのことを学んでください。

ともにがんばりましょう。